

療マネジメント ～地域と共に質の高い、安全な医療をつくる～」と致しました。医療の質を高めること、患者の安全を守ることは、病院が信頼を得るために最も重要な要素です。この信頼に基づいて近隣の医療機関と連携をすることができます。私たちは地域の患者さんや医療者としてしっかりと信頼関係を築き、お互いに理解、協力し合いながらより質の高い、安全な医療を行う姿勢を大切にしたいと考えています。

今回のパンデミックで日本の医療提供体制の脆弱さが露呈しました。しかし、その中で私たちは様々な経験をし、多くのことを学びました。入院受け入れ医療機関では、感染急拡大時に人員、病床等を柔軟に変更できる仕組みが必要でした。また、地域内のそれぞれの医療機関は感染症の重症度だけでなく、透析、妊婦、小児などの特殊病態による役割分担を決めることも重要でした。将来の新興感染症によるパンデミックへの対応体制整備のために、コロナに関する総括は重要だと考えます。

2024年4月から医師の時間外労働規制が始まり、働き方改革は医療現場に大きな影響を及ぼすと思われます。また、若年人口の減少による医療従事者の不足も現実のものとなりつつあります。タスクシフト・シェアに留まらず、仕事そのものの効率化も重要な課題となってきました。今こそクリティカルパスやDX(デジタルトランスフォーメーション)の導入を真剣に考える時だと思われます。当学術総会では、これら以外にも医療の現場での様々な問題を議論していただきたいと考えています。

福岡は食文化の街です。玄界灘の海の幸、水炊き、もつ鍋、博多ラーメン、辛子明太子などいくつもの名物がありますので、学術総会の合間にお楽しみいただきたいと思います。また、学術総会終了後の土、日曜日を利用して福岡を起点とする九州の旅などを計画いただければと考えております。多くの皆さまのご参加をお待ち致しております。

会 期：2024年6月21日(金)・22日(土)

会 場：福岡国際会議場 福岡サンパレス

プログラム(予定)：基調講演、会長講演、招待講演、特別講演、教育講演、教育セミナー、シンポジウム、会長特別企画、一般演題(口演/ポスター)、クリティカルパス展示、モーニングセミナー、ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナー、市民公開講座

問い合わせ先：第26回日本医療マネジメント学会学術総会

事務局 福岡赤十字病院 総務課
担当：江崎、安達
〒815-8555 福岡県福岡市南区大楠3-1-1
TEL：092-235-4587(総務課直通)
FAX：092-522-3066
E-mail：jhm2024@fukuoka-med.jrc.or.jp

運営事務局 株式会社コングレ
担当：手島
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-9-17
福岡天神フコク生命ビル
TEL：092-716-7116 FAX：092-716-7143
E-mail：jhm2024@congre.co.jp

支部学術集会開催報告

第17回奈良支部学術集会

学術集会会長：済生会中和病院院長 中島祥介

2023年2月4日(土)奈良県社会福祉総合センターにおいて、日本医療マネジメント学会第17回奈良支部学術集会を開催しました。県内の医療機関などから300名を超えるご参加を頂きました。今学術集会では「変革の時代への新たな挑戦ー地域の医療と介護を支える現場からー」をテーマとし、特別講演では奈良県福祉医療部医療政策局長の平 夏来先生から「奈良県の地域医療構想について」と題し、御講演をいただきました。

また、シンポジウムでは、「奈良県型地域医療構想2025を支えるー今、地域が求める連携と機能分化ー」として、地域医療構想に造詣の深い先生方にご講演いただき、多職種が協働して奈良の地域医療構想を成功に導くには連携と機能分化をどうマネジメントしたら良いのか議論を深めました。一般演題は56題の口演発表があり、活発な質疑応答が行われ大変有意義な学術集会となりました。

本学術集会の開催にあたり、ご支援・ご協力をいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。



会場風景